



四国から始まるフードイノベーション ～地域資源とテクノロジーの融合～

SHIKOKU
FOODTECH

2025年10月9日

四国経済産業局

地域経済部 製造産業・情報政策課

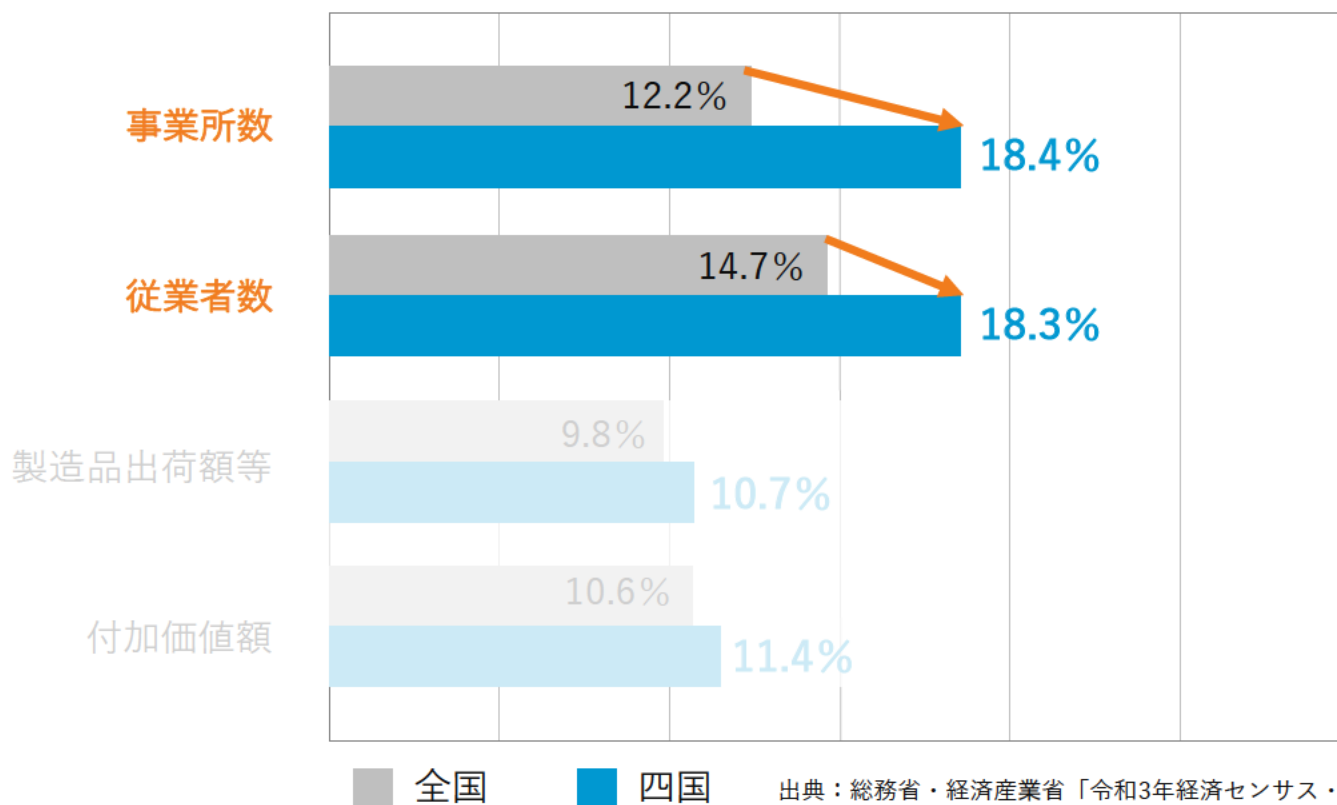
本日の内容

1. 四国発のフードテック
2. 四国の「食産業分野」の現状と成長の可能性
3. 四国経済産業局の取り組み

四国の現状

- ✓ 四国地域には、全国的にも競争力の高い農産物や水産物などの一次産品が豊富に存在しており、これらを活かした食料品製造業は地域の製造業において重要な位置を占めている。
- ✓ 事業所数や従業者数の割合は全国平均を大きく上回っていることから、地域経済への貢献度の高さがうかがえる。

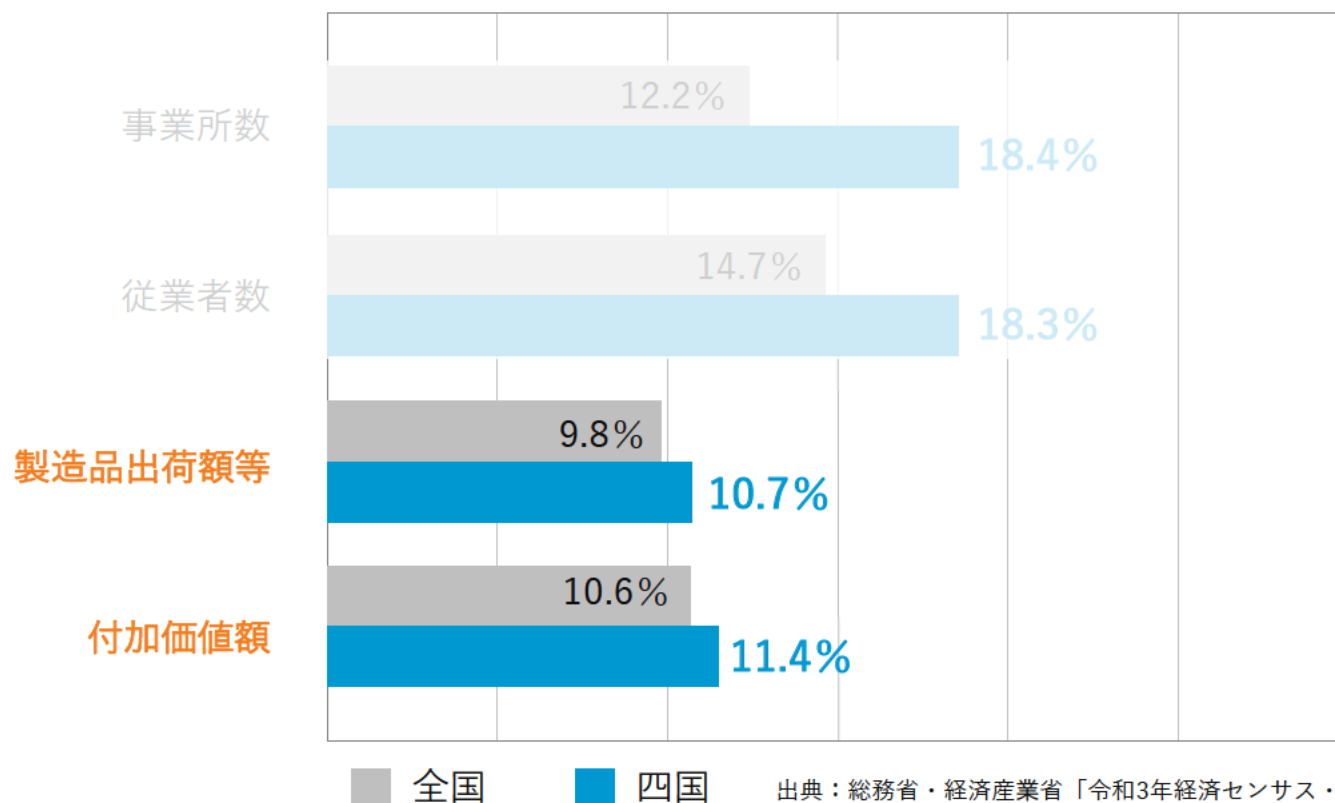
製造業のうち「食料品製造業」が占める割合



四国の課題

- ✓ 一方で、**製造品出荷額**や**付加価値額**は、**全国との差は小さく**、一次産品が原材料のまま出荷される傾向が強い。
- ✓ 一次産業に連なる二次産業（加工・製造業）の発展に十分に結びついておらず、**地域内での付加価値創出や雇用拡大を妨げる要因**となっている。

製造業のうち「食料品製造業」が占める割合



成長の可能性 ～各県の強み～

- ✓ 豊かな自然環境と多様な地形（海・山・川・平野）がバランスよく存在し、各県の地域資源を活かした全国的に知名度の高いブランド食材が多数。
- ✓ 食文化が観光資源として活用され、地域ブランディングやインバウンド誘致にも貢献。食を通じた地域の魅力発信が、地域活性化の柱となっている。

愛媛



養殖業が全国トップクラス
特に「まだい」の海面養殖は全国シェア1位。



柑橘類の名産地
みかん、伊予柑、河内晩柑などの柑橘が有名。

香川



日照時間が全国一長く、農業に好適
レタス、さめき三畜など高品質な農畜産物を生産



うどん文化の中心地
讃岐うどんを中心とした
観光・食文化が地域経済に貢献。

高知



施設園芸が盛ん
温暖多照な気候を活かしたハウス栽培。



海藻養殖の先進地
海藻養殖技術の中心を担っている。

徳島



全国的に知名度の高い一次産品
すだち、なると金時、阿波尾鶏など、
京阪神市場を背景に多品目の生産が盛ん



バイオ技術と食分野の融合
ゲノム編集技術を活用した食産業の革新に取り組む

充実した公設試の支援体制

- ✓ 各県の公設試に食品関連部門があり支援体制も整備。食関連の先端研究も盛ん。

徳島県立
工業技術センター

香川県
産業技術センター

愛媛県
産業技術研究所

高知県
工業技術センター

スタートアップの集積

スタートアップの成功モデルを創出するために設立された「J-Startup」の
四国地域版（J-Startup WEST）において、選出企業の中にも多くフードテック企業がみられる。

第1次選定企業11社（令和5年度）

所在地	選定企業名	所在地	選定企業名
徳島県	株式会社 SmartLaser&Plasma Systems	香川県	株式会社 Raise the Flag.
徳島県	株式会社 セツロテック	愛媛県	オブティウム・バイオテクノロジー株式会社
徳島県	株式会社 電腦交通	愛媛県	ユナイテッドシルク株式会社
徳島県	株式会社 リブル	愛媛県	株式会社 わっか
香川県	株式会社 XEN GROUP	高知県	合同会社 シーベジタブル
香川県	株式会社 未来機械		

第2次選定企業14社（令和6年度）

所在地	選定企業名	所在地	選定企業名
徳島県	株式会社 amidex	香川県	株式会社 Soilook
徳島県	株式会社 Egret・Lab	香川県	株式会社 Japan Fruits
徳島県	イツモスマイル株式会社	香川県	DO・CHANGE株式会社
徳島県	株式会社 クロスメディシン	香川県	日本ルースト株式会社
徳島県	株式会社 サウスウッド	香川県	株式会社 ミトラ
徳島県	小胞体ストレス研究所株式会社	愛媛県	株式会社 WiseVine
香川県	合同会社 Setolabo	高知県	株式会社 サンシキ

四国経済産業局の取り組み

- ✓ 四国地域におけるフードテックに関する調査、検討会を実施し、四国地域の活性化に向けて、四国地域の優位性を活かしたエコシステム構築を見据えた基盤作りを目指した。

R6

R7

R8

初年度の取組

- 基礎調査
- 事例集作成
- セミナー・展示会開催
- 社会受容性向上活動
- 技術マッチング
- 推進検討会・分科会

四国の強み

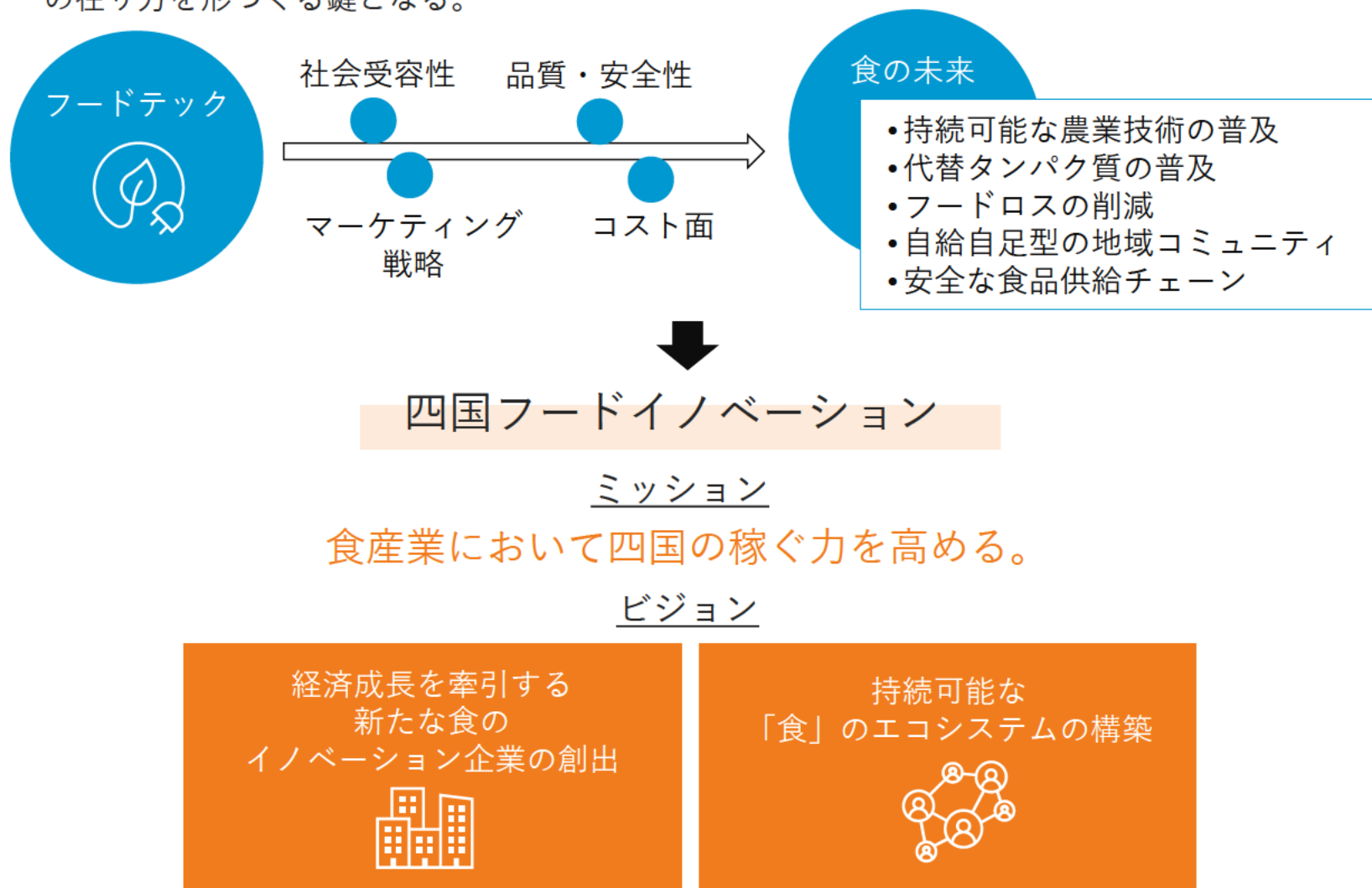
- ✓ スタートアップから大企業まで、食の課題解決に取り組む企業が集積している。
- ✓ 公設試の「食」分野の支援体制が充実している。

四国の課題

- ✓ 中小食品関連企業ではプロダクトアウトな開発アイデアが多く、作りたいものと売れるものの間にズレが発生することがある。
- ✓ 技術開発や製品化を行う段階で、市場トレンドの分析や消費者の潜在ニーズの掘り起こしを行い、マーケットインの視点を取り入れ販路を拡大するべきではないか。
- ✓ フードテックの推進には、「テクノロジー」の磨き上げだけでなく、ビジネスモデル、マーケティング戦略、品質・安全性、消費者ニーズなど多角的な視点が必要。

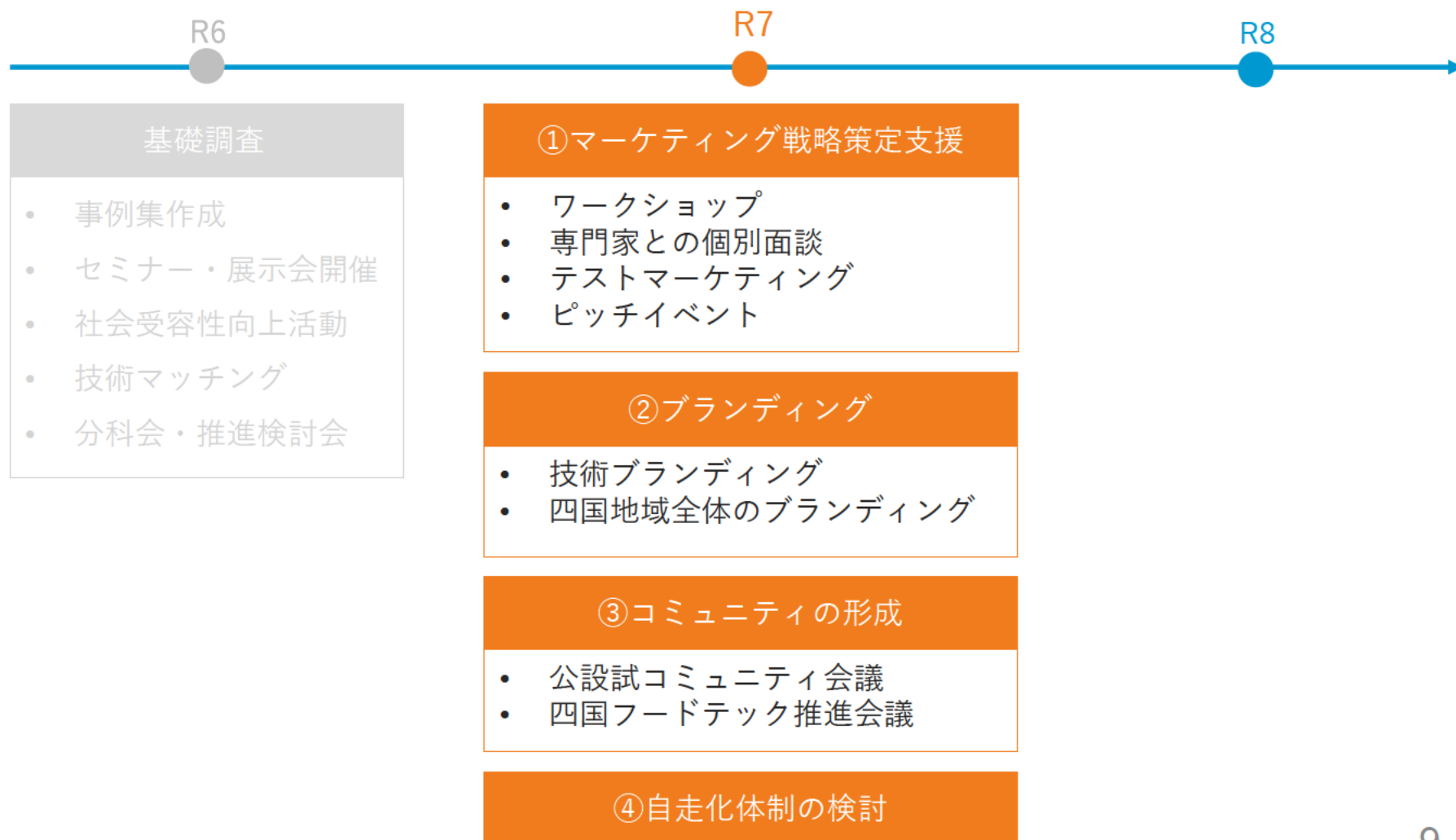
四国経済産業局の取り組み

- ✓ フードテックの活用による「食分野の社会課題解決」を出発点とし、その過程で発生するさまざまな課題に対して、**テクノロジーだけでなく多角的な視点から革新を図る**ことで、新たな価値を創造し、市場を形成する。この一連の流れが「**フードイノベーション**」であり、未来の食の在り方を形づくる鍵となる。



四国経済産業局の取り組み

- ✓ 昨年度の基礎調査で多く意見のあった「技術の社会実装にかかるマーケティング戦略」に重点をおいた支援を実施し、四国を牽引するイノベーション企業の創出を目指す。
- ✓ また、持続的な支援体制の構築に向け、産学官のネットワークの形成を目指す。



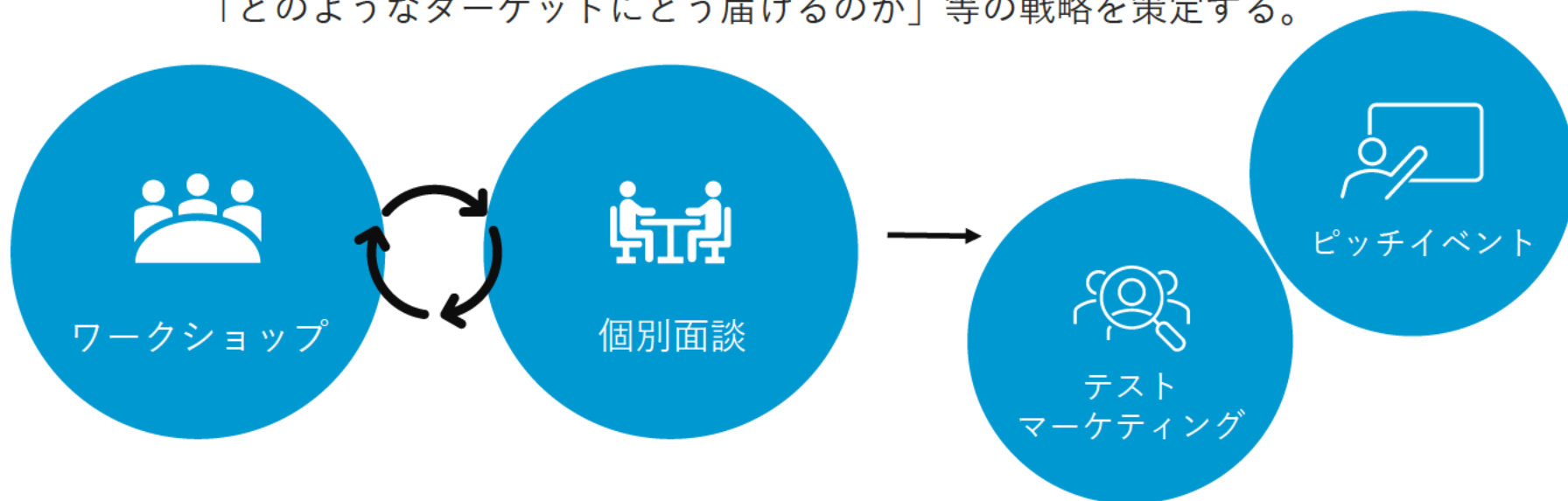
四国経済産業局の取り組み

①マーケティング戦略策定支援

消費者行動や市場の変化を踏まえ、

「企業が消費者や社会へ提供したい価値とは何か」、

「どのようなターゲットにどう届けるのか」等の戦略を策定する。



全10社合同で
ワークショップを実施。

- ・ 最新動向やマーケティング
- ・ 新事業展開や新規顧客開拓
- ・ 自社の現状把握
- ・ 発信方法の仮説構築等

ワークショップの
進行に合わせて、
専門家との面談を実施。
個社ごとの戦略策定を行う。

実証の場として、
大手小売や食品企業等を集客し、
テストマーケティング及び、
マッチングを目的とした
ピッチイベント行う。

②ブランディング

企業や商品の持つ強みの「可視化」、

四国のフードテックを盛り上げていくための求心力としてのブランディングを、
香川大学 創造工学部と共同で行う。

技術
ブランディング



< BtoB企業におけるブランディング意識の醸成 >

企業や製品が持つ技術を、開発者の想いやその技術が持つ強みなどを
踏まえたブランディングを行い、顧客への訴求力を高める。

取り組み事例

大倉工業株式会社
「加圧熱水抽出技術」

四国地域全体の
ブランディング



< 事業求心力の形成 >

四国地域で群となって、フードテックを訴求していくための
ブランドシンボルを作成する。

本事業の求心力を高め、四国のフードテックの旗印とする。

③コミュニティの形成

企業の技術課題解決に係るノウハウの蓄積や体制作りと、
産学官金を含む多様なステークホルダーとのネットワーク形成を支援することで、
地域全体の食産業の高度化と持続的な成長を促進していく。

公設試 コミュニティ会議



四国全体でのフードテック関連エコシステム構築の在り方についての意見交換を実施。

- ・各機関におけるフードテック分野の企業支援状況の共有
- ・四国大で共同開発などの、
技術開発マッチングを推進すべき案件の選考

四国フードテック 推進会議

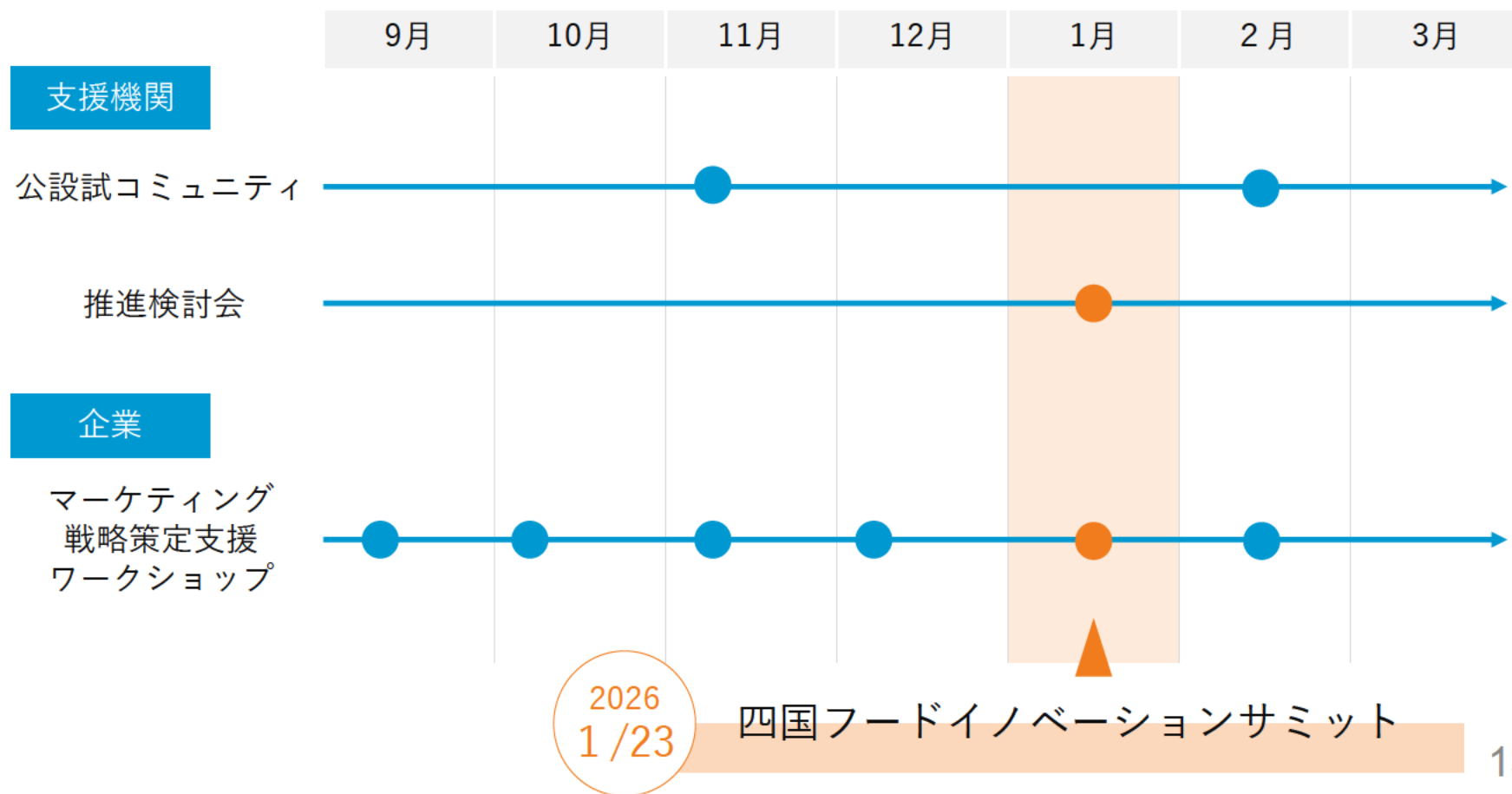


令和7年度フードテック分野における支援事業の活動内容報告を行うとともに、フードテック関連企業支援に係る意見交換を実施。

③コミュニティの形成

持続可能な支援体制の構築にあたり、関係者同士の顔の見える関係づくりとして、支援側機関だけでなく、企業同士の交流も促進。

1月23日のイベントでは、全ての関係者・情報が集まる場を目指す。



お問い合わせ先

四国経済産業局 地域経済部
製造産業・情報政策課
フードテック担当

〒760-8512
香川県高松市サンポート 3 - 3 3
高松サンポート合同庁舎北館 7 階
TEL : 087-811-8518